

四條畷市総合教育会議（令和元年度第4回）
会議録

四 條 畷 市

1 令和2年3月4日 午後1時30分 四條畷市201会議室において、四條畷市総合教育会議を開催する。

2 出席者

市長	東 修平
教育長	植田 篤司
教育長職務代理者	山本博資
教育委員	吉田知子
教育委員	竹内千佳夫
教育委員	佃 千春

3 事務局出席者

教育次長兼教育部長	開 康成	教育部上席主幹(教育総務担当)	木村 実
総務部長兼人事室長	西口文敏	兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長	
総合政策部長	藤岡靖幸	兼教育センター長	
兼魅力創造室長			
教育部次長	上井大介	生涯学習推進課長	安田美有希
兼学校教育課長			
教育総務課長	板谷ひと美	危機統括監兼総合政策部次長	喜多計成
施設再編室長兼課長	南森淳一	兼秘書政策課長	
総務部上席主幹	奥 大輔	秘書政策課 主任	藤戸 学

4 会議録作成者

秘書政策課事務職員 安田直由

5 案件

- (1) 四條畷市教育大綱策定に向けた検討について
- (2) GIGAスクール構想について
- (3) 学校施設修繕計画について
- (4) 四條畷市個別施設計画【公共施設】の策定について(報告)
- (5) その他

<p>総合政策部長兼 魅力創造室長</p>	<p>定刻になりましたので、令和元年度第4回四條畷市総合教育会議を開催させていただきます。</p> <p>本日は、全員のご出席をいただいております。</p> <p>本日は、四條畷市教育大綱策定に向けた検討について、GIGAスクール構想について、学校施設修繕計画について、個別施設計画【公共施設】の策定について、報告や意見交換を行うため、お集まりいただきました。本日も、円滑な会議の進行にご協力をお願い申し上げます。</p> <p>なお、会議録作成のため、録音をさせていただくとともに、今後の市広報誌等への掲載のため、会議の状況を総合政策部職員が写真撮影させていただきますのでご了承ください。</p> <p>それでは、はじめに市長から、挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>本日は公私大変お忙しい中にもかかわらずお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>また、先日は急遽会議の開催日を変更いたしましたことに対しましてご理解をいただきましたことを重ねて御礼を申し上げます。</p> <p>ご承知の通り、新型コロナウイルス対策に向けまして、1月の末から対策本部会議を立ち上げて、今朝の会議も含めて、計12回ほど会議を重ね、市をあげて全力で対応している最中にございます。</p> <p>そうしたなか、先般の内閣総理大臣からの要請を受け、小中学校の臨時休業に伴う措置でございましたり、ふれあい教室における対応、並びに低学年児童への対応という形で、教育委員会の皆様には、迅速にご協議をいただき、また、多大なご対応をいただきましたこと、対策本部長として、また、市民を代表いたしまして、お礼を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>引き続き、対策本部会議としても、市をあげて適切な対応を迅速に行ってまいり所存でございますので、何卒よろしくお願いを申し上げます。</p> <p>以降、着座にて挨拶申し上げます。</p> <p>第1回の総合教育会議におきまして、本市の教育大綱を定めるにあたり、未来教育会議という組織体を立ち上げ、素案の策定を進めていくことについて意見交換をさせていただきました。</p> <p>現在、未来教育会議は2回の実施を終えておりますので、この後、事務局からも説明がございますが、各教育委員の皆様には経過をご説明させていただくとともに、現時点でのたたき台につきまして意見交換をさせていただければと考えてございます。</p> <p>また、市立小中学校における教育の情報化整備計画に基づくG I</p>

<p>市長</p>	<p>GAスクール構想、四條畷市学校施設修繕計画につきましてもご報告をさせていただきたいと思います。また、四條畷市個別施設計画【公共施設】についても、今般策定することができましたことから、こちらもご報告をさせていただきたいと思います。</p> <p>以上限られた時間でございますが、実のある会議となるようご協力をよろしくお願い申し上げます。甚だ簡単でございますが挨拶に代えさせていただきます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
<p>総合政策部長兼 魅力創造室長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは市長、会議の進行をお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは、次第に従い進めてまいります。</p> <p>まずは、四條畷市教育大綱策定に向けた検討について、担当部局から報告等をお願いしたいと思います。</p>
<p>総合政策部長兼 魅力創造室長</p>	<p>それでは資料番号1から6につきまして、ご説明をさせていただきます。未来教育会議での議論を中心にご報告を申し上げますので、宜しくをお願いいたします。</p> <p>まず、令和元年5月の第1回総合教育会議におきまして、総合教育会議の各委員の皆様へ、今後、四條畷市未来教育会議の組織を立ち上げ、教育大綱の素案の作成に向けて進めさせていただくことを報告させていただきました。</p> <p>その後、6月に四條畷市未来教育会議条例を制定のうえ、11月25日、令和2年1月29日の合計2回、未来教育会議を行っております。</p> <p>各会議の議事摘録につきましては、事前に各委員の皆様へ送付させていただいております。ご確認をいただいておりますが、改めまして簡単にこれまでの未来教育会議の経過等について、ご報告させていただきます。</p> <p>まず、第1回未来教育会議につきましては、資料番号1を用いて議論を行いました。1ページをご覧ください。</p> <p>ここでは、3回の未来教育会議の予定を説明させていただき、次に2ページ、3ページに記載しております現在の教育大綱の位置づけと、教育大綱策定後の教育大綱および仮称教育振興計画の位置づけについて、ご説明をさせていただきました。</p> <p>その後、4ページ、5ページを参考に、市の子どもの現状、今後の方向性、子どもの過ごす場所から見た役割と課題について、市長、</p>

<p>総合政策部長兼 魅力創造室長</p>	<p>教育長から各委員にご説明を行い、その後、他の委員から多岐にわたるご意見をいただいております。</p> <p>いただいたご意見については、資料番号2といたしまして、「第1回未来教育会議での課題・意見の整理表」としてとりまとめてございます。</p> <p>資料番号2をご覧ください。</p> <p>1 ページめの1、家庭における子どもの観点からといたしまして、課題に、本市では欠食率、テストの無回答率が高いのが気になる、児童虐待や不登校などの増加、受験制度の変化等により保護者の受験などの知識が古くなっている、子育てが困難で支援を要する保護者の増加などがあげられ、そのことから意見といたしましては、保育士や保健師などの人手が必要、保護者への関わりが子どもの成長に合わせて少なくなってくるので、切れ目のない支援が必要といった意見がございました。</p> <p>次に、2点め、幼児教育施設等における子どもという観点からは、発達に課題のある子どもの増加、幼児教育時の子どもたちの成長記録や保護者に関する情報が小学校に十分に引き継いでおらず、あまり活用できていない、といった課題が上がり、意見といたしましては、幼児期に、保護者が行政職員と一緒に、子育てや教育について学べる場が必要、また、子どもが小さい時ほど親に重点的に関わってもらうことが大事といった意見があがりました。</p> <p>次に2ページの3、学校等における子どもの観点からは、宿題が多いなど子どもが忙しく、主体性が育ちにくい環境になっており、自己肯定感が低い、支援が必要とする子どもの増加、保護者からの学校に対しての要望の増加、教員の疲労感や多忙感が高くなっている、学校で子どもの観察、記録、分析、検証などができていないところが多く、システムとして学年間、学校間の引継ぎが十分ではない、過去の教員養成課程では学んでいない現在の課題への取組み、教員志望者の減少といった課題があげられ、意見といたしましては、子どもの発達状況や個性に応じて、ICT機器等で補完し、子どものできることを伸ばすことが大事、子どもの評価には、観察、記録、分析が大事、担任の役割等、学校としての対応が系統的に決まっているべき、第三者評価を踏まえ、学校のビジョンを保護者や地域に公表することが大事、教員の働き方改革からの事務の見直しが必要、課題を抱える子どもの自己肯定感を上げるためには、フリースクールなど、子どもたちが安心していられる場所が必要、といった意見があがりました。</p> <p>最後に3ページめの4、社会で生きる子どもの観点では、課題と</p>
---------------------------	--

総合政策部長兼
魅力創造室長

しては先生が様々な職業の内容等を話すことは困難であり、また、現在、保護者が求める学力と企業が求めている学力に違いがあるといった声があり、意見としては、子どもに様々な職業があることや、社会で求められる能力などを外部人材の方に話してもらうことが大事、社会では、忍耐力や新たな価値を創造できる人が求められている、多様な価値観を認めることができる人材育成が必要といった意見がありました。

これら第1回の意見を踏まえまして、第2回未来教育会議では、資料番号3の教育大綱（たたき台）、資料番号4、この2つを作成いたしました。

資料番号3の1ページの1はじめに、2根拠法令、3大綱の期間、4、教育大綱の位置づけを明記し、2ページの体系図につきましても1回めからの修正を行いました。

この体系図につきましては、教育委員会が教育大綱策定後に見直すとする教育振興基本計画については、教育にかかる分野を総合的にとりまとめていくものとなりますが、今回の教育大綱では、その中でも、特に子どもに主眼をおき、第3章の5子育て、子育て支援の充実、第4章の1、教育の充実、第4章の2、青少年の健全育成などの分野を重点とすることを考えております。

3ページからは、事務局の案として基本理念、基本方針を記載し、議論を深めていただくことにいたしました。また、資料番号4につきましては、子ども像、学校像、行政像の望ましい姿を案として提示し、ご議論いただき、ご議論いただいた内容については、先ほどと同様、資料番号5「第2回未来教育会議での課題・意見の整理表」として、とりまとめを行ってございます。

まず、1点めのめざす子ども像としては、子どもたち自身が気づく力を養ってほしい、自分をしっかりと信じられる子ども、何ができなくても自分が生きていてよかったと思える子ども、自分らしく生きること自信をもって臨み挑戦できる子ども、2ページめに入りまして、自己肯定感が高い子ども、それぞれがそれぞれに自信をもって生きていく、などといった意見がありました。

これら意見を受けまして、2ページの中段の矢印の下にキーワード等をまとめてございます。

次に、2、めざす学校像といたしましては、子ども理解という言葉が多く出てきました。また、そのためには、一人の担任だけではなく、たくさんの先生が、組織として、チームとして子どもを見守り、観察することが必要といったご意見や、地域とともに子どもを育てる取組みが必要、そのためには、地域のおせっかいといった一

<p>総合政策部長兼 魅力創造室長</p>	<p>見マイナスのようにも見えますが、うまく活用できれば今の時代にあってすごくいいのでは、といった意見も出され、3ページの矢印の下のようにまとめてございます。</p> <p>次に、3めざす行政像にいたしましては、3ページ、4ページに記載しておりますが、教員の事務や仕事量、働き方改革を進めるにしても、行政の後押しが必要、先生の学校間の異動に左右されない組織としてシステムとして子どもを支える構造、学校と福祉との連携、地域の企業との連携などネットワークやプラットフォームが必要ということから、5ページのうえの矢印の下にまとめております。</p> <p>また、基本理念についてのご意見も、四條畷らしい、独自性があればいいのでは、といったご意見をいただきました。</p> <p>このような意見を受け、資料6として作成しました教育大綱（たたき台）の3ページに基本理念、めざす教育像、基本方針の案を作成いたしまして、次回の未来教育会議で、最終的なご意見をいただくと考えているところでございます。</p> <p>説明としては以上となります。本日は、未来教育会議で行われた意見交換の内容を、教育委員の皆様と共有させていただき、委員皆さままで意見交換をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>ただいま事務局から説明がございました。</p> <p>経過をご覧いただけたらわかりますとおり、我々としても課題感を共有しつつ、委員の皆さんからご指摘をいただき、またそれらを踏まえて修正し、また意見交換を行いと、少しずつ軌道修正をしつつ、2回の会議を重ねて、今の資料番号6の形までたどり着いてきたというような状況にございます。</p> <p>詳しい内容は議事録をすでにご覧いただいておりますので、重ねてはご説明申し上げませんが、現在のたたき台の状況を踏まえてご意見等あればお願いしたいと思います。</p> <p>あるいは、教育長から補足があればお願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>未来教育会議の委員もかねておりますので、1点補足をさせていただきます。</p> <p>第1回の未来教育会議に先立ちまして、昨年7月から8月に全ての本市の学校10校に出向きまして、教員からのダイレクトなヒアリングをしております。そういった内容も、この未来教育会議の中で、概ね共有いたしまして、それを踏まえた議論ということになっておりますので、補足させていただきます。以上です。</p>

市長	<p>それでは各委員の皆様からご意見、ご質問等あればお願いいたします。</p>
山本教育長職務代理者	<p>未来教育会議1回めの資料番号1のところ、今後の教育の方向性という形でこれから論点するところの、子どもたちの生きる力を育てるという3つの視点というのが書かれていまして、このあたりの方向性はよく理解できます。</p> <p>その上で、はじめに、この教育大綱を決めるについて、先ほど事務局から説明がありましたように、四條畷市総合計画の中の第3章の5、第4章の1、2という、三つの点。これは学校教育に関わる部分を中心というところでそういう形になったのかなと思うのですが、その点から教育理念と基本方針を決めるということになっているのかと思うのですが、この三点に特化された理由等があれば、もう少し詳しくお伺いしたいです。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、教育長職務代理者からお示いただきました通り、四條畷市では第6次四條畷市総合計画というものを持ってございます。</p> <p>こちらの四條畷市総合計画の第1章から第5章の中で、行政が携わる分野について、網羅的に理念、視点、方向性が示されているものになっており、教育分野におきましても、とりわけ第3章、第4章において大きな方向性というものは、そもそもこの総合計画の中に示されているものと認識しております。</p> <p>すでに四條畷市総合計画の中で網羅的に教育分野においても各方向性が示されているので、今回、とりわけ教育大綱を策定するのであれば、当然、全分野を薄く広く記載していくという方向性もあるかとは思ったのですが、この大綱というものの中で、方向性として、やはり、まず子どもたちの学び、育ち、健やかな成長に対して重点を置いていくというのは、私、市長としての考えでもございまして、それを踏まえて今回策定する教育大綱には、子どもをとりわけ重点とした記載をさせていただければと思っているところでございます。</p>
山本教育長職務代理者	<p>今の市長のご説明で、大体の方向性というのはわかったのですが、市長就任以降、大綱を含めた形で教育ビジョンというのを、我々作ってきましたけれども、そのなかの部分については、学校教育それから社会教育、それからもう一つ教育環境を含むハード整備というのが、本市の教育の大きな3つの柱にあったかなと思うので</p>

山本教育長職務代 理者	<p>すが、社会教育等については、いろいろなところの兼ね合いがありますけれども、教育委員会の業務として、その部分をしていかなきゃならないというのがありますので、それについては、いわゆる教育振興基本計画という、ビジョンの名前を変えたものかなとは思いますが、この中で、独自に教育委員会が、もちろん独自としてもそういう本市の教育理念に沿った形になってくるかと思うのですけれども、そういうものを検討していくという方向になるのでしょうか。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>少し繰り返すにはなってしまうのですが、いずれにしても総合計画の中で、網羅的に社会教育分野であったり、各施設についての方角性というものは定められておりますので、この第6次四條畷市総合計画に定められている方向性の中で、教育委員会として、仮称かと思いますが教育振興基本計画として、さらにより詳細な方向性でございましたり、施策、計画というものをご検討いただくということになるのかなと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
佃委員	<p>未来教育会議の議事録について、すみずみまで丁寧に読ませていただきました。市長と教育長以外の6名の委員の皆様の本当に深い見識といいますか、それぞれの方々の思いがすごく溢れていて、四條畷市のこれからの教育に、何かひとつのものが作りあげられた暁には、素晴らしいものができるのではないかなと思いましたが、その方々に対する、何故委員となられたのかという市長の思いがあったと思うのですけれども、一番この方々に期待されたところがどういうところだったかをまずお聞かせいただきたいです。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>一番初めの資料番号1の4ページで、先ほど職務代理にも触れていただいたのですけれども、これは議会でも申し述べさせていただいたのですけれども、やはり今後、教育大綱を策定していくにあたり何を一番重点に置くか、それは子どもたちの生きる力を育てていきたいというのが根幹にある思いでございます。</p> <p>そうしていったなかで、今回、委員の皆様は、それぞれ、大学で教員の指導に精通をされている方でもございましたり、実際に学校現場の中で新しい学校の経営運営をされている方でもございましたり、あるいはこれまでの社会で求められている力と、いま学んでいる学</p>

<p>市長</p>	<p>力の間に差があるというキャリア教育の観点も踏まえて、それぞれの委員の方を選ばせていただくと同時に、やはりすでに四條畷市の児童、生徒たちの状況をよく知っている方でございましたり、あるいは府内全体の子どもたちの置かれている環境を良く知っている方、あるいは他市で取りこぼしのないような子どもたちの成長というのを見守られている方などといった、生きる力というものを考えたときに、それぞれの方向性に向かって必要ではないかと思われる分野に精通された方にお声掛けをして、かつ四條畷のことをよく知っている方にもご参画をいただいて、バランスのよい、多方面からの意見を伺いたいというふうに思って、委員の皆さんを選ばさせていただきました。</p> <p>実際に、多方面の委員の皆様がご出席をいただいておりますので、議事録をご覧いただいたらわかると思うのですが、いろいろな意見があります。真逆の意見が出てきたり、委員間の中でも全く一枚岩になっていない。</p> <p>私は、それが良い議論をする際に非常に大切だと思っていて、意図としては、全員が同じような方向性の考えじゃなくて、それぞれの場所で、それぞれ違う考えを持たれている方々にたくさん意見を出してもらいたい。</p> <p>そういう意味でバックグラウンドが異なる方々を選ばせていただいたという状況です。</p>
<p>佀委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>バランスでいうと、教育長もすごく学校の現状の事や今の子どもたちの現状も丁寧に、また、これからの進むべき方向についても、おそらくビジュアルに訴えてもご説明されていたりしたと思うのですが、私は市長がもっと、何でしょう、市長のご経験も踏まえて、私はこう思うというような事を、なかなか議事録では、そこまで見えなかったのですけれど、そこをもっと演説されてもよかったのかなと思ったのですけれど、そのあたりはいかがでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>そう言ういただけるのは、非常に嬉しいところでもあるのですが、私自身は行政の長として職務に当たっておりますけれども、教育分野の専門家では決してありませんので、今回、教育大綱を定めるにあたり、力点を入れていきたい、リソースを割いていきたいという思いでは、いろいろな分野があり、いろいろな対象がある中でも、方向性としては子どもたちの生きる力、これに行政としては力</p>

<p>市長</p>	<p>点を置いていきたい。そこを定めていくのが、市長としての役割であって、そのアプローチの仕方とか、課題は実際こんなところにあるというのは、それぞれ、ご活躍されている方々のご見識のほうに圧倒的にあると思っておりますので、しっかりそれに耳を傾けながら、総合調整をさせていただくのが、私の役割ではないのかなと思っております。</p> <p>これまでの会議の中では方向性はお示しさせていただくものの、各委員さんのお声にまずは耳を傾けていきたいなという思いです。し、本日もまた、教育委員の皆さんが、やはり教育行政に精通しておられる方々ですので、本日もまた様々な意見を取り入れさせていただきたいという思いでございます。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>ただいまのお話にも関連するのですけれども、第1回めの未来教育会議の議事録等を読ませていただいて、資料ナンバー2の学校等における子どもというところに出てきた意見を見させていただいているのですけれども、確かに各方面に精通されていますので、本当に今の教育の縮図みたいな形でいろんな意見がたくさん出てきているとは思っています。</p> <p>ただ残念なのは、学校等における子どもというところを見ていただけたら分かるのですけれども、学校等における子どもの分析をしながら、実はほとんどすべての項目が、教員の分析になっているというところが少し気になりました。</p> <p>それで、議事録も読ませていただくと、確かに本市の教育の実態であるとかそういうところには分析はされているのですけれども、実は、非常に支援を要する子どもでありますとか、特に引きこもり不登校という部分についてはすごく分析がされたのですけれども、このめざす三つの視点の、学校における知識、技能、思考力、判断力、人間性等の教育というふうに書かれている、三つの視点の一番上なのですけれども、こういうことに関する、本市の子どもたちの姿像というのは、あまり議論をされてなかったかなという気はします。</p> <p>結局そういうところのまとめが、たたき台になっているところの、教育目標等のところにきているのではないかなというふうに思いますので、「個性をみんなを活かすまち」というふうに基本理念が書かれているのですけれども、これは全然間違えておりませんし、確かにその通りだなど思うのですけれども、そういうところで言うと、子ども像というのがなかなか浮かんでこない。</p> <p>市長が第1回の時に、どなたかに意見を問われて、ずっと四條畷</p>

<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>で育ってきたご自分の思いを言われていまして、その中で地域の人達の姿であるとか、あるいは自然体というのですか、そういう部分が私はすごく良いなと思っていたのですけれども、そういうところが子どもの姿として、理念の中に出てこないというのは、少しちょっと残念な気がしています。</p> <p>といいますのは、「個性をみんなで活かすまち」というのは、別に四條畷市でなくても、全国すべての子どもたちを抱えているまちは、個性というものは、特にこの間、国の教育の方針の中でも大きな位置をしめていますので、大事なことだと思うのですけれどもね、四條畷に特化するような形の部分が、ちょっとその理念のなかに出てきていないというのは残念だなと。</p> <p>市長が言われた自然であるとか、地域の人たちのなかで子どもたちが育っているというような、そういう部分が、さらにこの基本理念の中に言葉として出てくると四條畷らしいな、という感じを受けました。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>確かにそういう議論もさせていただいて、今、職務代理がおっしゃっていただいたような側面も十分にあると私も思っています。</p> <p>その中で、今回たたき台としては、「個性をみんなで活かすまち」とさせていただいているのですが、これについては未来教育会議の第2回の中でも長時間にわたり議論が行われました。</p> <p>確かにこれだと全国でも同じようなことが言えるのではないかなというようなことは挙げられつつも、例えばある委員がおっしゃっていたのは、「元気で前向きな子どもたちをめざす」というような基本理念があった時に、確かにそういう時代もあったかもしれないけれども、では今、「前向きでなく元気じゃない子どもたちというのは、理想から外れているのか」というような議論がございまして、そうではなくても、その子の個性が活きる分野、得意が発揮される分野があるのではないかなということで、この議論を重ねた結果、あえて、まちとしてこういう子がいい、こういう子になってほしいというように示すと、その子の主体性を削いでしまうのではないかな、その方向に持っていこうとしてしまうのではないかな、であればいっそ、その子が持っている個性をみんなで支えてあげて、その子の個性が活きる方向性が良いのではないかなという思いで、今回、基本理念を作らせていただいている、実はこれこそかなり個性の強い基本理念になっているのではないのかなと私としては正直思っています。</p>

<p>市長</p>	<p>このたたき台の中に、学力という言葉が1ヶ所も出てこないという状況になっています。これも議論がありましたが、複数の委員から、結局学力を迫うのか、個性を迫うのかとなった場合に、学力というところを書くと、どうしても机に座って課題をやらせてしまい、宿題を多く出してしまう。</p> <p>すると主体性が育たなくなり、自信がなくなってしまうのではないかというような意見も複数あったので、あえて学力という言葉は、実はこちらからは取らせていただいて、学力じゃない部分にその子の個性があるかもしれない、そういう想いを書かせていただきたいなと思って、今回このまとめをしています。</p> <p>しかしながら、職務代理がおっしゃっていただいたとおりで、確かに私は第2回の会議時に、ある委員から聞かれて四條畷の良さというところもお話させていただいて、他の委員からもそういう要素が入った方がいいよねというようなお言葉をいただいたので、これは一旦検討課題とさせていただいて、次回の未来教育会議でも議論をさせていただいて、また、この総合教育会議でもお話しさせていただければと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>一つ意見を述べさせていただきます。</p> <p>日々、子どもたちと毎日接している先生たちの声というか、そのあたりも大事にしていければと思うのですけれど、学校現場の意見についてはね、先ほど、教育長からヒアリングなんて話もありましたけれども、まだこの会議のところには反映をされていないわけなのですけれど、今後どういう形で学校の意見を吸い上げるじゃないのですけれど、参画していくのかということをお聞きしたいということと、私も、学校現場にいた時のことなのですが、日々先生たちと話をしていることは、子どもたちにどんな力をつけてあげたいののだろうか、それぞれ個性がありますので、その子その子に応じた力をつけてあげようということで、先生たちとよく議論をしたことを覚えています。</p> <p>その中で、私が職員等で確認し合った事は、やっぱり夢を挑戦するだけじゃなくて、夢を実現しようとする力をつけてあげようということです。</p> <p>それは例えば、気力であるとか体力から道徳力など様々な力があるわけなのですけれど、そういった意味で、先ほど基本理念のところでも、生きる力、子どもたちが生きる力をいうことを明言されていますけれども、そこはもう少し具体的に、やっぱり夢を実現する</p>

竹内委員	<p>力をつけてあげようというようなキーワードがあれば、もう少し広がりが出てくるのではないかと、私の意見なのですけれども思いました。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>順にご説明をさせていただきます。現場の先生の声が大事であるというのは、私もこれは全くその通りだと思っていますし、未来教育会議の委員の中からも、現場の先生の声が非常に大事になってくるといってお声もありました。</p> <p>そのため、先ほど教育長からもございましたけれども、各学校に周っていただいて、現場の先生の声も聞いていただき、意見交換もしていただき、その内容、方向性については、未来教育会議委員の方にも一定お伝えしている中での議論をさせていただいているというのが1点と、加え、まさにこの総合教育会議の場が、現場の先生たちの声を教育委員の皆さんから、私にお伝えいただく場であると思っておりますので、その二つの方向から現場の先生の声を伝えていただきたいなと思っています。</p>
市長	<p>2点めの、その子に応じた力を伸ばしてあげていくというような観点でいきますと、やはり年々教員の皆さんが忙しくなっている。とりわけ大阪府や国から求められた資料等の提出に係る事務作業が多くなってきていることや、子どもに向き合っているのではなく、パソコンや資料に向き合っている時間が長くなってきている。</p> <p>その結果、子どもの分析でしたり、観察という時間が少なくなってくる、結果としては一律の宿題で対応せざるをえないというところを何とか改善していきたいなと、まさに先生方が子どもたちを観察する時間をしっかりとって、子どもたちを理解する時間をしっかりとって、子どもたちの個性を分析する時間をしっかりとって、のばしてあげたいなと思う部分に注力できるような取組みをしていきたいというのが、まさに今回の教育大綱に掲げているものでございます。</p> <p>そのなかで、これはあくまでも大綱で、ぼんやりとした方向性、ぼんやりとしたとは言いつつも、明確に示させていただくのですけれども、その後に、個性を活かすということでしたり、教員が子どもの観察、理解に時間をかけていく道筋について、どのような計画を立てて進めていくかということについては、まさに教育委員会でご定めていただきたいなと思っておりますし、今いただきました夢を実現するということについてもご意見いただきましたので、持ち帰ら</p>

市長	<p>せていただいて、また議論をさせていただきたいと思います。 ありがとうございます。</p>
吉田委員	<p>ほとんど皆さんが言うてくださったので、私の意見ということで言わせていただきますと、今の夢を実現するということでは、夢を実現できる子どもというのはほんの一握りだと思います。</p> <p>ただ、夢を実現するためのそれまでのプロセスを経験するという事は、その子にとっての社会に出てからの、それこそ生きる力のためには大きな力になると思いますので、その努力をする機会を作ってあげることが、義務教育のなかでは大切なことだと思っています。</p> <p>なので、先生方と生徒の関係というのはとてもその面では大切なことだと思いますので、今、市長が仰っていただきました教員に対して、そのゆとりを作っていただくというのは、とても素晴らしいことだと思いますので実現していただきたいと思いますし、子どもたちにとっても義務教育を終えて、高校生、社会に出た後というのは、誰も守ってあげられないといえますか、本当に自分の力で生きていかなければいけないということを、義務教育の間に、もう少し教えていってあげれば、社会で生きる子どもということに強く繋がるのではないかなというふうに思います。一つの意見です。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>本当にお示しのとおりかと思います。</p> <p>今後、令和2年度の当初予算の方は議会で審議いただくことになるのですが、そういう教員の皆さんが、子どもたちにより向き合える時間を確保できればという思いで、今回予算の編成もさせていただいたところではございますので、その思いは、まさにこの教育大綱のたたき台にも、表れているのかなと思っています。</p> <p>夢が達成できる子は一握りかもしれないということもおっしゃっていただいたのですが、まさにこのたたき台の3ページめにある基本方針2にもあるのですが、まずは主体性を持っていただきたい、夢に挑戦するということを知ってほしいという子に対する学びもあれば、すでに夢中になっているものがある、より高めたいという子もいて、いろいろな差があると思います。</p> <p>それぞれの子どもたちにしっかりと最適化された教育を提供していけるためにも、基本方針3の、チーム学校みんなで行うということが重要になってくるという方向性をお示しさせていただいているかなと思いますので、まさに吉田委員がいま仰っていただいたよ</p>

<p>市長</p>	<p>うな方向性を踏まえて、今後、教育大綱をより精度の高いものにしていけたらいいなと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>佃委員</p>	<p>教育というのは、やっぱり人づくりで、まちづくりの本当に基本だと思いますから、今回のこの大綱というものに対しては、まず、学校現場に携わる人が、いつでも、どこでもその言葉が出てきたり、めざす子ども像といったら、先生方も保護者も地域の人も、こういう子とすぐに分かる、本当に分かりやすい言葉や像でないといけないと思うのですが、それでしたら、「個性をみんなで活かすまち」という基本理念よりは、例えばこの言葉でしたら、「みんなで活かそう子どもたちの個性」というような、やろうよ、L e t ‘ s というような雰囲気という言葉にするというのも一つの案かなということと、あと、めざす教育像の中の三つも、これは植田教育長もおっしゃっていたかと思うのですが、最後に、それぞれの個性が発揮できている子どもとか、一丸となって子ども理解に注力している教員とか、何か最後にそういう言葉をちゃんと入れないといけないと思いますし、何かこう突っ込んでばかりいるのですが、めざす教員像の中で、子ども理解に注力するとあるのですが、子ども理解というのは注力してできるものではなく、やはり教員の感性によるものでもあると思うので、このあたりの表現であるとか、このあたりをもっと練っていただきたいなということ。</p> <p>あと、一番大事なめざす子ども像というのは、前回の未来教育会議のなかでは、自己肯定感とか自尊感情という言葉がすごくキーワードだと思ったのですが、私は、自分を大切に子どもだと思っています。</p> <p>自分を大切に子ども、そして、友達とか仲間とか、人を大切に子どもということですね、さらにもっと言うとキャリア教育の話も出ていましたけれども、やっぱり自分の未来、将来を大切に子どもという、何かそういう簡単な言葉とか、そういうものに落とし込んでいくという案もあるのではないかなと、もっと言うと、最終的なめざす学校というのは、地域から信頼される学校でなければならないということが原則的にあるかと思いますので、そのあたりが、何かわかりやすい言葉で並ぶと素敵だなと思いました。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>同様の議論が、未来教育会議でもございました。</p> <p>今回の資料6のたたき台の3ページめが非常にシンプルになって</p>

<p>市長</p>	<p>いるのは、今、佃委員がおっしゃっていただいた意図もあります。</p> <p>長いとですね、覚えられない。覚えられないと実践できないという想いがありますので、この教育大綱におきましては、佃委員がおっしゃっていただいたとおり、パツと口で言えるような、とにかくシンプルに頭に入ってきて、かつ、キーワードはしっかりとあるというものをめざしていこうというのは、未来教育会議でも第1回、第2回ともに意見がございました。</p> <p>ですので、今さらにいただいたご意見も踏まえて、より凝縮されたといいますか、教員の皆さんにとっても、我々行政にとっても、子どもにとっても覚えやすいといいますか、実践しやすい言い回しも、検討させていただければと思います。</p> <p>また、その後段でいただきました自己肯定感というところで、自分を大切にというようなお言葉もいただきましたけれども、佃委員からいただいたご意見も踏まえて、第3回の未来教育会議を経て、最終的にまたこの総合教育会議で議論させていただければと思います。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>さきほどと同様なのですけれども、めざす教育像のところの、めざす学校像に各主体というふうに書かれています。各主体というのは、想定するところは家庭であるとか地域であるとか行政であるとか、学校がありますから、学校も当然入るかと思うのですけれども、そういうことかなと思いますけれども、言葉として各主体というのが、いろんな要素があるということで、多分そういう連携ということで書かれているかとは思いますが、ちょっと気になりました。</p> <p>その下に基本方針がありますね、こちらも同様に気になっていることはですね、基本方針2のところ個別最適化された教育というふうになっています。この部分については、我々も先日勉強をしました。</p> <p>未来の教室のなかの経産省の部分からとって、三つの議論があったうちのひとつが、教育のスキーム化、それから二つめが個別最適化となっている部分の一部分かなと思うのですけれども、既に経産省の言葉として、個別最適化というのが、ある一定のイメージされている言葉になっているかと思うのです。それを、ここに使うことによって、そのイメージと合っておればいいのですけれども、ちょっとその部分が気になっていて、本市の基本方針のなかに個別最適化された教育というのが方針としていいのかなというのは、気になったところです。</p>

<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>今、基本方針の1と2を、別のもので書いていますけれども、実際にはこういう教育のスキーム化であるとか、個別最適化であるとか、あるいはGIGAに象徴される新しいITの学習基盤作り、中教審が示していますけれども、そういうところが基になって、子どもが気付く力を伸ばす教育ができるのではないかなというふうな気がしました。それが基本方針2についてです。</p> <p>それから、基本方針3のところチーム学校の構築というのが書かれています。これも実際には中教審のなかで、チームとしての学校という概念があって、これはコミュニティスクールに続いていく部分かと思うのですけれども、地域等と連携して、学校のコミュニティ化をなさいよというところの、「チームとしての学校」という言葉がありますので、ここで言われているチーム学校は、それとはちょっと異なるかなと思うのですけれども、「チームとしての学校」という部分にとらわれてしまうような気がしますので、方針の3がそれであればいいのですけれども、未来教育会議の中で議論になった教員がワンチームで、一丸となってあたりなさいよという議論であれば、少し、「チーム学校」という部分が「チームとしての学校」と混乱するのではないかという気がしました。</p> <p>以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>各主体の部分につきましては、従来ですと、例えば地域という単語をこのフレーズでは用いることが多かったのかなというふうに思うのですが、今後、開かれた教育という観点の中で、様々な職業があったりするということを読んでいただこうと思うと、いわゆるこれまでの地域にかかわらず、職業がたくさんあるという意味ではいろんな方々と連携していく必要がある。</p> <p>それはもしかしたら、商工会の皆さんかもしれないですし、これまでにない主体の皆さんとも、やっぱり連携していきながら子どもの個性を活かしていきたいなという想いで、あえて各主体とは記載させていただいているのですが、それによって分かりづらくなってはいけないので、これもいったん持ち帰らせていただいてさらに議論をさせていただきたいと思います。</p> <p>基本方針2の個別最適化という文言につきましては、これは今、職務代理がおっしゃっていただいたご意見としては、すでに個別最適化というものに付いているイメージが強いので、それに引っ張られてしまうのではないかということかなと思います。</p> <p>本来的に個別最適化の部分につきましては、すでにお示しいただ</p>

<p>市長</p>	<p>いたとおり、次の議題にもなりますが、G I G Aスクール構想の中において、発達に個性があるお子さんであったり、引きこもっているお子さん等についても、従来であれば学校に足を運ばなければ学べなかったところが、こうしたテクノロジーを使うことによって学びに繋がったり、既に学校で習う授業があまりに退屈で聞いていないというようなお子さんに対しても、そういった子どもに対してはさらなる学びを提供していくと。</p> <p>それこそ個性にあった形で、学びを促進していきたいという思いでの個別最適化という文言ではございますけれども、私としては表現としては、端的に言い表せているのかなとは思っておりますけれども、そういうご意見もいただきましたので、いったんこちらを持ち帰らせていただいて議論できればなと思っております。</p> <p>チーム学校の部分につきましては、お示しの通り、いわゆるコミュニティスクール、地域の皆様とともに学校を考えていくという観点は、こちらはおそらく学習指導要領といえますか、今後、令和4年度まででしたかね、それまでに検討していかなければならないということになっておりますので、いずれにしても必要なと思っております、その観点も踏まえつつ、今、職務代理がおっしゃっていただいたとおり、これは学校の中が一枚岩としてまとまるという意図を表すので、「チームとしての学校」という表現を使うと、混乱してしまうのではないかとご指摘かと受けとめました。</p> <p>確かにその通りかなと思っておりますので、表現方法につきましては、先ほど伺委員からもございましたけれども、より伝わらなければ意味がありませんので、これも分かりやすい表現に直せば直していただけたらと思っております。ありがとうございます。</p> <p>その他いかがでしょうか。もしよろしければ、この次第の1につきましては終わらせていただき、次に進めさせていただこうと思っておりますがよろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>市長</p>	<p>それでは次第2、G I G Aスクール構想について担当部局から報告等をお願いしたいと思います。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>着座にて失礼いたします。G I G Aスクール構想についてご説明いたします。</p> <p>S o c i e t y 5 . 0時代を生きる子どもたちの学びには、教育におけるI C Tを基盤とした先端技術等の効果的な活用が不可欠とな</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>っております。</p> <p>国においては、令和元年6月に学校教育の情報化の推進に関する法律を施行され、同年12月には安心と成長の未来を拓く総合経済対策として、GIGAスクール構想の実現、EdTech導入実証事業、教育現場の課題解決に資するローカル5G活用モデル構築のための補正予算が閣議決定されました。</p> <p>本市においても、この機会を逃すことなく、未来を築く子どもたちに有用となる教育ICT環境の実現に力強く取り組む必要があり、これらの実現に向けたハード整備を計画する最中にあります。この度、先の補正による国補助金を活用した整備の内容を、市立小中学校における教育の情報化整備計画に基づくGIGAスクール構想として取りまとめましたので、その内容をお示しさせていただきます。</p> <p>構想の1頁をお開きください。</p> <p>1頁では、本構想をまとめるに至った背景や趣旨、位置づけをお示ししております。</p> <p>本構想の位置づけは、教育振興ビジョンの下位計画にあたる、市立小中学校における教育の情報化整備計画に示す事業の一部であり、且つ、市長部局所管のICT・IoT活用計画との整合を図るものです。</p> <p>続き、4頁以降に具体的な整備内容を示しております。</p> <p>①として、先ずは令和2年度中に、児童生徒が通常授業を受けるホームルーム、支援学級、少人数教室、通級指導教室、英語教室に高速大容量の通信ネットワークを敷設、併せて、ホームルーム及び職員室に電源キャビネットを設置したく考えております。</p> <p>その後、②として、国が示す地方財政措置による3クラスに1クラス分の端末整備と併行し、国補助金を活用の上、令和3年度に小学5、6学年及び中学1学年、4年度に中学2～3学年、5年度に小学1～4学年の児童生徒用端末及び教員端末、予備機の整備を予定したいと思っております。</p> <p>ただし、実際の整備台数については、児童生徒数により変動する可能性があり、整備年度も財政状況により同様と考えております。</p> <p>本事業計画の策定にあたり、財政担当からは、機器整備にあたり、文部科学省が示す端末モデルを十分に参考とすること、また、令和元年度整備のパソコンルームの機器も整備台数に含めることとの指示を受けております。</p> <p>いずれも、実現したい授業スタイルや活用するアプリケーション、ソフト等を明確にしたうえで、現場の実情にも照らし、整備の段階に</p>
---------------	---

教育総務課長	<p>において十分に検討してまいりたいと考えております。</p> <p>最後に、ソフト面での対応として、令和2年度中に活用方針、また、教員のフォローアップ計画の策定を予定しており、年度ごと授業実践の定着につなげてまいります。説明は以上でございます。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいま、担当の方から説明がございましたけれども、この件について、教育委員の皆さんから想いでしたり、ご意見、補足等があればご発言をお願いいたします。</p> <p>教育長お願いします。</p>
教育長	<p>補足をさせていただきます。今、説明がありましたように、まずは1人1台の端末、それらを高速大容量ネットワークでつないで、クラウドコンピューティング上にアプリケーション、利用形態を載せます。その上で、それを教えるためのスキルをアップグレードしていく。あくまでも端末、それからネットワーク整備は、ハードウェアの基本整備であって、その上にアプリケーション、利用形態、そして教育指導のスキルの変換をして、完成していくという、その様な大きな計画になっています。</p>
市長	<p>補足説明ありがとうございます。その他ご意見はございますか。</p>
山本教育長職務代理者	<p>この計画については、我々は子どもたち一人に端末があって、授業としては、個別最適化の上で、使うことができないと簡単にいえるのですが、実際市の財務負担が、大きいかなというのが1点と、学習環境を整備しても、実際教えるのは先生方ですので、教員のスキルがそこまでたどり着けるかという不安があります。</p> <p>子どもたちが端末を持ったからと言って、すぐに教えられるわけはありませんし、教員のパソコンであるとか、或いは教室における電子黒板とか、そういう附属したものが必要ではないかなと思っています。また、現場で先生方が教えているときに、わからない事ができたときに、誰かがまた対応しなければならないです。</p> <p>恐らくそういうコーディネーターがいると思いますけれども、コーディネーターの配置とかも含めて、結局市の財政負担が多岐にわたるかなという心配をしています。そういうところで市長にできる限りフォローをお願いしたいというのが私の正直な感想です。非常に大変なことは分かっていますが、これからのICT教育を利用した学校教育に乗り遅れる訳にはいけませんので、ぜひよろしくお</p>

山本教育長職務代理者	願います。
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私の記憶が正しければ、昨年か一昨年前ぐらいに、確か東京の方にもご視察に行かれて、こういうICT機器を活用した授業のご視察に行かれたという話はこちらでも聞かせていただいたかなというふうに思います。恐らく、東京の学校だったかなと思うのですが、職務代理がおっしゃっていただいたとおりに、これからのおそらく学びの基準になってきます。これは文部科学大臣をはじめ、よくメッセージとして出されております。</p> <p>そうしたなか、四條畷市で育ち、学ぶ子どもたちが、それらに乗り遅れることのないよう、むしろ、本格的にこれからの未来社会を考えた場合に、使いこなせるような子どもに育ててほしいというような思いで私たちもいます。</p> <p>ご心配いただきました財政負担。ないと言ったらうそになります。しかしながら、市職員、あるいは住民の皆さん、市全体を上げて、様々な行財政改革に取り組んできているのも、必要な部分にどれだけ投資をしていけるか、あるいはこれだけの予算をどうやって確保していくのかというのが主眼にあります。</p> <p>関連予算については、議会でご審議いただきますけれども、本年度、令和元年度については先生たちのパソコンでございましたり、整備を進めているところでございます。また、当初予算にはICT支援員の拡充ではないですけれども、時間を延ばしていったりとか、各種機器、いま電子黒板というご意見もいただきましたけれども、現場の先生たちにとって、どういう環境になれば一番教えやすく子どもたちも伸びるのか。それを教育委員さんの方でも議論いただいて、積極的にご提示いただいて、投資をしていく。四條畷で学べてよかった、学習してよかったなと思えるように、まずハード面は最低でも整備していく。</p> <p>職務代理がおっしゃっていただいたように、先生たちのソフト面の部分、これは教育委員の皆さんにもアイデアや知恵を出していただいて、どういうサポートをするのがベストかというのは、一緒になって悩んで支援していければいいなと思いますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
竹内委員	<p>新しい教育課題に向かうということは、いつの時代にも最初は不安げにスタートします。また、わからない部分がたくさんあるって</p>

竹内委員	<p>ということで、それは無理がないことかと思えます。2年前くらいに、東京の小金井小学校の方に、視察に行かせていただきました。その時に私がびっくりしたことは、どの教室もタブレットを持って授業していたんです。だから、特別ではなかったんです。特殊な指導力のある一部の先生などが授業をしているということではなくて、誰でも授業ができていく状況にびっくりしたわけなんです。その中で、なぜそういうことがその当時にできていたかということ、各教室でインストラクター等、複数で授業をされていたということがありました。だから、1人ではできないけど、2人でやればいろんな指導ができる。先ほど言われたスキルアップも、これからの大きな課題になっていくと思えますので、そういった意味で、新しい教育課題に立ち向かうような、意識改革のようなものを、これからの現場では必要になっていくのではないかと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>予算案がご可決いただけたら令和2年度内に、まずはネットワークを整備することになると思います。また、令和3年度以降に端末を整備します。その場合に、先生たちがどう指導していくのかというのは、令和2年度の中でたくさんご議論いただいて、方針といいますか、実際の適用に向かって、教育委員の皆さんには、種々ご議論いただかないといけないかなと思いますので、その部分は何卒よろしくお願ひ申し上げたいと思います。</p>
佃委員	<p>市長の思いを聞かせていただくとワクワクするなと私は思います。デジタルネイティブでいらっしゃる市長ということで考えると、当然四條畷市では、力強く進めていただきたいですし、もっと言うと、民間企業でそれを進めてこられた教育長がいるわけですから、条件整備というか、力強いリーダーが前にいる市はないということを見ると、今回の文科省、経産省の施策には、トップで進めていただいて、大阪では一番をめざして欲しいと思います。</p> <p>しかし、今いろいろ出てきている現場での不安ということだと思えるのですが、私の前任校での5年間の経験を思い出すと、赴任当初はICT機器を使った授業しましょうということで、教育委員会から現場にあったわけですが、その時の現場でICTを使いましょうとリーダーが言うことに対する抵抗感は半端ではなかったと思います。</p> <p>しかし、若い先生がやってみようかなということ、授業が楽しくなる、子どもの顔が上がるという成功体験が積み重なることで、4年めぐ</p>

<p>佃委員</p>	<p>らいから全員が、夏休み等は苦手な教員が「教えてくれへん」ということを若い教員に言ったり、現場のOJTが進むということを感じると、今現場は、20代30代の先生がほとんどだと思いますから、そういった中で教育委員会で申しあげましたけれども、やる気のある先生のネットワーク化、それを支える有識者を交えて、間違った方向に進まないような使い方、そういうことを、チームで進めていただけたらきっとできるでしょうし、一つモデル校的なものをされるのか、その辺はわかりませんが、「何かやれるやん」という意識があれば絶対に進むと思いますし、</p> <p>今日の危機管理の中であって、図書館にいらっしゃっている方が少ないという四條畷の現状を見ると、若い保護者の期待はきっとすごく大きいと思うんです。そういう情報提供を上手に進められて、やはり議会でのご理解も要りますけれども、これはやはり未来のことをわかっている市長が説得をしていただいて、夢を語っていただけたらなということをすごく思います。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>お示しいただきました通り、これは学校の先生方に限らず、行政に限らず、企業であっても、何か新たな取り組みをすることに対して、不安があるというようなところは、どこも一緒だと思います。</p> <p>ただ、我々の目的は、ICT機器を使うということではなく、子どもたちの学びにとって何がいいか。やっぱりこれからICTが必要だねと、そういう順番で考えていきたいと思っていますし、そういう順番で考えていますので、この点につきましては教育長を筆頭に、教育委員の皆さんのお力添えいただきながら現場の先生とも対話を重ねていただきたいと思っています。</p> <p>また、その点で必要なリソース等があれば、しっかりとまとめていただいて、お伝えいただきたいと思っています。それが支援なのかインストラクターなのか、そういうものが必要であれば、またご協議いただきたいなと思っています。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>ICTを使った教育が進むと、支援を要する子どもたちにも目から入る情報ということで、とても入りやすくなって、教育という面でも、学力が上がる期待がされていると思いますので、とても心強いことだなと思いますし、今のようにコロナウイルスにより、お家で勉強ができないというにも、お家にいながら先生と繋がれるということもこれから必要になってくるのではないかと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。</p>

吉田委員	<p>市長のツイッターも、皆さんに情報がいつているので、そういう面でも、このような分野が先に進められており、心強く思っています。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今お示しいただいたので、おそらく今後教育委員の皆さんには、先生方のところと同様に、ICT環境、ネットワークに繋がることでリテラシーが非常に重要になってくるのかなと思います。便利になればなるほど、危険も伴ってきますので、指針であったり、セキュリティポリシーの問題、情報リテラシーの部分、これについて、子どもたちは純粋ですので、そういう部分を、教育委員の皆さんにおいても、方向性や基準を示していただくというところにも、ご尽力をいただけたらなと思います。</p> <p>他になければこの案件は終わらせていただこうと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>それでは次第の3、学校施設修繕計画（案）について、担当部局からお願いいたします。</p>
教育総務課長	<p>学校施設修繕計画についてご説明します。高度経済成長期に整備した公共施設が総じて老朽化するなか、学校施設についても老朽化に起因する事故や不具合が全国的に少なからず発生している状況です。</p> <p>これらを未然に防止し、より良い教育環境を提供するためには、各種法定点検等の結果をもとに、今後の修繕方針を取りまとめ、計画的な維持補修につなげる必要があります。今般、教育委員会にて、それらの内容を学校施設修繕計画として取りまとめましたので、その概要をご報告させていただきます。</p> <p>計画の1頁をご覧ください。はじめに、計画策定に至る背景、主旨を記載しております。</p> <p>続き、計画の位置付けは、今後、教育委員会に取りまとめ予定の（仮称）学校施設整備方針に即し、学校空調設備整備計画と相互に補完し、かつ、市長部局所管の地域防災計画や公共施設等総合管理計画との整合を図る計画としております。</p> <p>5ページの後ろ以降に各種点検の結果をデータベース化しており、特に早急な対応が求められる防火設備、消防設備の修繕を最優先に取り組みたく、令和2年度の予算要求に至っております。</p> <p>以降は、平成29年度に実施した公共建築物状況調査と各設備の点検結果を踏まえ、①安全性②機能性③快適性に留意のうえ、総合</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>的な判断のもと、年度ごと優先順位を見極めてまいります。</p> <p>修繕方針としては、4ページに記載のとおり、公共建築物状況調査の結果がD評価の箇所から行うことを原則に、加えて、各種定期点検で是正等の指摘を受けている箇所、あるいはC評価を受けており、D評価の指摘箇所と同時に修繕を行う方が学校教育、工法や費用の観点から望ましい箇所から優先的に修繕を行う考えです。</p> <p>また、他の計画との整合を図りつつ、長寿命化や中規模の修繕が予定されている建物は、修繕の先送りも見込むこととします。</p> <p>修繕工事の目標期間は、D評価の箇所を令和4年度、C評価の箇所を6年度までとし、B評価は経過観察、A評価は計画の対象外として取り扱い、本計画の更新については、5ページの7番に記載のとおり、修繕方針に準じた年度ごとの工事等について、その内容を整理し、随時、修繕の詳細を更新してまいります。説明は以上でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>これまで、教育委員の皆様もご案内のとおり、四條畷市というところは財政健全化というものに取り組んできていた中で、どうしても本当に危険になって来た場合、事後対応的な形で取り組まざるをえない期間がありましたが、一定、長きにわたり行財政改革というものを進めてきた中で、財政健全化が一定進んでまいりましたので、今般、網羅的に計画的に安全性を担保していく計画を取り入れてまともていただいたことに関しては、子どもたちの安心安全においても非常に重要なことだなどと思っております。ありがとうございます。</p> <p>何か補足であったりとかご意見あればお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>こちらは、先ほど、G I G Aと異なり、本当に安全性をきっちりと担保していくと。そのために予算をどれだけきっちりとさいって計画的に進めていけるかというところですので、いただいた内容を共有させていただきつつ、財政部局との議論をしていきながら、安全安心の確保を図ってまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは次第の4、四條畷市個別施設計画【公共施設】の策定について、担当部局からお願いいたします。</p>
<p>施設再編室長兼課長</p>	<p>公共施設に係る個別施設計画を本年1月末に策定いたしましたので、その概要についてご報告させていただきます。個別施設計画を</p>

<p>施設再編室長兼課長</p>	<p>お手元にご用意ください。</p> <p>昨年11月6日開催の第3回総合教育会議以降、計画（案）をもとに議会との意見交換をはじめ、庁内組織である推進本部会議での度重なる検討を経て、本年1月31日に計画策定いたしました。それでは、前回、お示しさせていただいた内容から変更となった主な部分についてご説明させていただきます。</p> <p>まず、はじめに計画書の13頁、14頁をご覧ください。</p> <p>第4章公共施設再編の基本方針から次の15頁、16頁の第5章計画の概略までについては、今後、様々な施設再編を進めていくうえで最も重要な事項として、これらの内容に則して各種の取組みを進めていきたい考えには変わらないことから、前回同様の内容となっております。</p> <p>続きまして、18頁をご覧ください。</p> <p>4公共施設の再編にかかる事業費の試算の（2）短期〔前期〕による再編を実施した場合の将来更新費用についてです。計画（案）において、四條畷南中学校跡地に整備するとしていた老人福祉センター楠風荘や教育文化センターなどの用途からなる複合施設の整備に関しては継続検討することとしたため、それぞれ施設を現在の立地において、維持・更新を行っていくとする条件に置き換え、試算し直したことに伴い、費用総額が約16億円増加の348.5億円となりました。</p> <p>続きまして、34頁をご覧ください。</p> <p>整理番号2教育文化センターについて、②整備方針において、当該施設は非耐震施設となっているため、前回は四條畷南中学校跡地に整備する複合施設に移転させるとしておりましたが、配置・規模については継続検討するいたしました。このことは、老人福祉センター楠風荘など他の非耐震施設についても同様となっております。</p> <p>続きまして、65頁をご覧ください。</p> <p>整理番号33四條畷南中学校跡地については、防災機能を有した複合施設を整備することとしておりましたが、当該跡地の活用については、異なる多数のご意見等をいただいたこれまでの経過を踏まえ、既存校舎も含めた跡地の利活用については継続検討するいたしました。</p> <p>しかしながら、当該地域における避難所機能については、従前同様、確保することとし、旧南中学校体育館と東小学校体育館を跡地に集約し、体育館については新築整備することとさせていただきました。</p> <p>続きまして、74頁をご覧ください。</p>
------------------	---

<p>施設再編室長兼課長</p>	<p>整理番号52四條畷西中学校サブグラウンドについては、当面は現状どおり中学校サブグラウンドとして利用することとしておりましたが、他の継続検討施設に合わせ、その種地となることから、短期〔前期〕に利活用の検討を行う旨を追記いたしました。</p> <p>以上が、計画案から変更させていただいた主な内容となっております。また、本計画の内容を端的にわかりやすく市民方々にご覧いただくため、別冊のとおり、概要版を作成しましたので、後程、ご確認いただきたく存じます。</p> <p>最後に、資料はございませんが、今後の予定についてです。現在、開催中の市議会定例会に公共施設再編検討会条例案を上程し、先日ご可決いただきましたので、第1回検討会の開催を本年5月頃に、以降、11月までに計6回開催する予定で進めてまいります。検討会での検討状況については、教育委員の皆さまに、適宜、情報提供させていただきます。</p> <p>また、次年度の本総合教育会議において、継続検討となった事項に対して、教育委員の皆さまと改めて議論をさせていただきながら、対象施設の個別具体の整備方針を定めていく考えでございますので、今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。</p> <p>以上、誠に簡単ではございますが、公共施設に係る個別施設計画についての内容説明とさせていただきます。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>いずれにしても、教育大綱の策定に向けて取り組んでおりますけれども、その後、仮称ではございますが教育振興基本計画を教育委員会で策定または改定をしていくことになると思います。そこに、こういった施設であったり、社会教育であったりとか、様々な方向性の議論であったり、めざすべき目標等が記載されることになると思いますので、密に情報交換をさせていただきながら、来年度についても進めさせていただきたいなと思います。何かご意見あればお願いします。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>四條畷南中学校跡地について、体育館の機能を集約し新築されるということで、それについては、南中の跡地の利活用については、検討会等で検討されると思いますが、南中跡地には避難所として、或いは地域の拠点としての場所が絶対必要と思っておりますので、体育館機能が集約された新しい体育館の建設というのは、すべての検討が終わった後の、短期の前期の2024年までに新築されるという認識でよいかというのが1点と、もう1点は、検討会議をされる</p>

山本教育長職務代理者	<p>ということですが、教育委員会に各種団体が、たくさんあって、教員委員会の事務局の方が、この個別施設計画の変更のたびに、説明であり、あるいは意見聴取で周っていただいているという大変なご苦勞をかけていますが、そういう教育委員会関係の各種団体の意見聴取はこの検討会議の中でされるような予定はあるのか、その2点についてお願いします。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>個別施設計画本編の65ページをご確認いただければと思うんですけども、こちらに「体育館を新築整備し」と記載をさせていただきますが、例えば職務代理が示していただきました通り、適正配置に向けて地域の方々とも議論を進めるなかで、防災拠点の確保があったうえでの学校統廃合でございますので、それらの趣旨をしっかりと踏まえ、2024年度までにとということではなくて、この新築整備するという方向性につきましては、議員皆さんの連名において早急に整備を図っていくようにと意思を示していただいておりますので、そういった全体の議論によって遅滞させることなく、国の補助であったり、各種条件を見ていきながら、必要な速度感できちりと前に進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>また、検討会のほうですけれども、こちらは15名以内の中で組織するとなっております、すべての各種団体の代表者に出ていただくことはできませんので、適宜検討会の中で、幅広く、多くの利用者の方であったり、様々な方々からご意見をいただく機会をきっちり設けさせていただきたいと思っております。その手法で何が最も適切なのか、これについても検討会の中で、しっかりと議論したうえで、教育委員の皆さんとも随時共有させていただければと思います。</p> <p>その他、ご質問等いかがでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
市長	<p>よろしければ次の案件に移らせていただきます。</p> <p>では最後の次第の5、その他の項目ですが、それぞれ担当から案件があればお願いしたいと思います。</p>
生涯学習推進課長	<p>着座にて失礼いたします。四條畷市体育施設備品管理計画についてご報告いたします。</p> <p>本計画は、市民の皆様にスポーツライフを楽しんでいただき、また、快適に各体育施設をご利用いただくことを目的に、備品管理に</p>

生涯学習推進課長	<p>関する方針を明確にするため策定いたしました。</p> <p>また、本計画は教育振興ビジョンの下位計画である四條畷市スポーツ推進計画 に示す基本理念である【ライフステージに応じたスポーツができる機会の創出、地域力を活かした取組み、各種競技スポーツのレベルアップ、スポーツ施設の充実】の実現をめざし、とりわけ「スポーツ施設の充実」の分野に特化した計画となっております。現状としまして、各施設の備品は、すでに耐用年数を超過しており、劣化が進んでいるものが多々ございます。しかしながら、当然のことではございますが、備品の更新には公的負担が伴うことから、更新を計画的にしていくことが必要です。</p> <p>本計画では、安全性、活用度を軸に置き、更新の優先順位を定め、計画的に更新してまいりたいと考えております。ただし、本計画は本市の財政状況やそもそもの備品に関する利用者ニーズを鑑み、更新等の内容は都度見直すものでございますので、申し添えさせていただきます。説明は以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございます。こちらの四條畷市体育施設備品管理計画について補足であったり、追加でのご説明等があればと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
市長	<p>こちらについても先ほどの学校施設整備計画と同じく、事後対応的になっていたものを、しっかりと計画に基づいて安全安心の確保にも努めていただくという意味で、この度、教育委員会が計画を作成いただいたことは大変意義深いものだと認識しております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>その他、その他の案件はございますか。</p>
教育部次長兼学校教育課長	<p>着座にて失礼します。新型コロナウイルス感染拡大防止に係る学校を含む教育部の取組みについて4つの視点から、報告させていただきます。</p> <p>なお、添付資料は2月26日教育委員会定例会を経ての通知文とその会議資料でございます。本件は時々刻々と状況が変わっているため、この資料の説明は省略させていただきます。</p> <p>まず、市内小中学校ですが、国の方針を受け、教育委員会において3月2日から24日までの臨時休業の方針を打ち出し、その後の臨時校長会において決定、同日付けで保護者あて文書にて周知いた</p>

<p>教育部次長兼学校教育課長</p>	<p>しました。その議論のなか、小中学校の卒業式は、参列者を極力絞り、かつ時間短縮を図り挙行を確認、その他、児童生徒の健康状況の把握、受験準備及び新学期に備え、自主登校日を設定するとしました。また、臨時休業に伴う履修などの多くの課題は、今後の臨時校長会において協議していく予定でございます。</p> <p>次に、ふれあい教室の対応につきましては、3月2日からは、長期休業時と同様の時間帯で運営し、緊急対応であることから、部内多方面に協力を仰ぎ対応している状況でございます。なお、児童の登室状況は、通常時の約7割、登録者の概ね半数程度でございます。</p> <p>3点め、臨時休業の間の低学年の対応については、閉館中の2つの公立図書館を活用し、休業の趣旨に即し、3月3日から23日の8時から17時、対象となる要件を絞り、申請書提出のうえ、利用いただいております。初日の昨日及び今朝の段階では、6人が登録、両図書館とも1人ずつの児童が利用されています。また、この緊急開館の実現については、図書館職員はもとより、職員組合とも協議を行い、概ねご理解をいただいております。</p> <p>最後に、現状抱える課題は多岐にわたっておりますが、今後出される国や大阪府の方針等に注視しながら、最良の解決に向け、判断する所存でございます。</p> <p>報告は以上でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>冒頭にも申し上げました通り、時々刻々と変化していく中で、様々な対応を迅速に決定いただいておりますことを重ねてお礼を申し上げます。今の説明に加えて何か補足、ご意見等あればいただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>先日金曜日、突然、学校は今日までとなった日に、6年生の女の子の下校と重なりまして、大量の荷物を持って帰っておりましたので、手伝おうかと声をかけたら一緒に帰ってくれということだったのでお家まで送っていったということがありました。</p> <p>その子とずっとお話をしながら帰ったのですが、その子は6年生で最後の授業で、突然担任の先生から今日までですというふうに言われて、ちょっと泣きそうになったと言い、この子は6年生が終わったらお引越しをするということだったので、なおさら寂しいというお話を聞きながら帰りました。それとすごい荷物だったのです。突然帰るとなって、突然持って帰りなさいというふうに言われたということで、ものすごい荷物だったということが、私の中で</p>

<p>吉田委員</p>	<p>もちょっと想定外だったので、お伝えしておきたいなと思いました。この子が特別だったのかもしれないですけど、そういう子も何人かいたのだらうなというふうに思いました。</p> <p>お忙しい中、いろいろ対応していただいた皆さんにはとても感謝しておりますし、皆さんも体調に気を付けていただきながら対応していただきたいと思っております。</p> <p>それから私が気になるのは、長い休みが明けたときの子どもたちの登校のタイミングというか、気持ちの持って行き方というか、そちらも学校の先生方と協議しながら進めていかなければいけないと思います。夏休みと同じような感じになると思うのです。夏休み明けというのは、やっぱり学校に行きたくなくなる子どもが多くなるのと、クラス替えということで、そちらもちょっと、危惧しているところであります。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>1点めにお示しいただいたところについては、本当に子どもにとって大きな心の負担になったことではないかなと思います。今回、感染症対策として休業の措置を取っていくこととなりました。これは社会全体の感染拡大防止に努めるとの考えのもと、子どもたちに負担の一端を担っていただくとともに、子どもたちの安全を確保していくという考えです。いずれにしても、子どもたちのみならず、ご家庭、企業、様々な主体、今回の新型コロナウイルスの影響によってご負担をいただいていると思いますが、行政といたしましては、その負担が少しでも軽減されるにはどうしたらいいか日々悩みながら、対策を前に前に、早く考えて、早く実行していけるということに注力していきたいなと思います。</p> <p>休み明けの対応等につきましても、お示しの通りかなと思います。私の記憶が正しければ、1年を通して最も子どもの自死が多いのが8月31日から9月1日にかけてと記憶しております。そうしたなか、本市は子育て総合支援センターがございまして、それぞれの児童生徒の見守りであったり、教員の皆さんからも情報共有していただきつつ、1人の児童生徒も取りこぼすことなく、しっかりとご家庭とも連携を取っていきながら、とりわけ要保護のお子さんだったり、注意深く見ていき、そういった副次的なことが決して起こらないように、福祉部局もあげて対応していきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>

<p>佃委員</p>	<p>この間、本当に学校現場は大変な対応と、吉田委員も言われたように、子どもたちの情緒面でのケアがすごく重要だと思うのですが、私はやっぱり学力面、授業が1ヶ月なくなるということの恐ろしさは、おそらく来年度当初もそれをどう補填するのかという課題が先生方には突きつけられると、すごく緊張して思っています。おそらく大量の宿題や、いろいろな学校現場での計画は粛々に行われているのでしようけれども、授業時数は少ないまま今年度を終わらなければならないでしょうし、それについて文科省は問わないということも、もちろん分かっていますけれども、四條畷市の先生方が、4月からどうするのかということについて、責任を持って取り組まれるよう、この3月の間に準備していただきたいですし、新しい学年を持たれた先生方には、そこをわかって、授業なり、ケアなりをしていただけるような、何か先生方をエンパワメントできるような、そんなことを教育委員会からもぜひ発信して欲しいなと強く思いました。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>いわゆる危機対応の最中にごさいますて、前例がないなか、本当に教育委員の皆さんの英知を結集していただいて、本市の子どもたちがスムーズに再開の日を迎えられるように、検討いただきたいなと思いますと同時に、我々の方で何かできる支援や必要なものがあれば随時対応していきますので、情報共有をいただければと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>市長</p>	<p>その他、事務局からございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>市長</p>	<p>これをもちまして、令和元年度第4回総合教育会議を閉会いたします。本日もありがとうございました。</p>